

## 議題（1）令和7年度事業報告及び収支決算について

### 令和7年度西尾市地域公共交通活性化協議会事業報告

#### 凡例

- …本協議会または西尾市地域つながり課が実施した事業で、新規に実施したもの
- …本協議会または西尾市地域つながり課が実施した事業で、前年から継続実施したもの
- ★…本協議会以外の協議会や民間事業者等が実施した事業で、新規に実施したもの
- ☆…本協議会以外の協議会や民間事業者等が実施した事業で、前年から継続実施したもの

#### 基本方針① 相互に連携し利用しやすい公共交通ネットワークの形成

##### 事業①－1－1 鉄道の維持・活性化

- ・公共交通の骨格を形成する名鉄西尾・蒲郡線（西尾駅～蒲郡駅）の存続に向け、西尾市、蒲郡市、愛知県からなる名鉄西尾・蒲郡線対策協議会にて協議を行います。
  - ★鉄道事業再構築事業の実施に向け、蒲郡線再構築実施計画の策定に着手
  - ☆対策協議会を開催し、現状の共有と支援金の支払いについて承認
  - ☆蒲郡線を対象に、自治体が鉄道施設の維持管理や設備投資の費用を負担する「みなし上下分離方式」を導入し、令和9年4月から15年間を基本に存続する方針が決定
- ・西尾市名鉄西尾・蒲郡線応援団を中心とした利用促進活動を展開するとともに、観光振興の観点から駅及び周辺の魅力アップにより県内外からの誘客を推進します。
  - 幡豆地区の小学校での特別授業の実施に加え、各世帯へ名鉄西尾・蒲郡線の無料乗車券引換券を配布し、日常生活における鉄道利用を考えるきっかけを促すモビリティマネジメントの取り組み「名鉄にしがま線プロジェクト」を実施
  - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する「おでかけきっぷ」を実施
  - 10人以上の団体や小学生以下の親子を対象とした運賃補助制度により、にしがま線の利用機会を創出
  - ★貸切観光列車「にしがま線トワイライトトレイン・ナイトトレイン」を実施
  - ☆蒲郡線のワンマン車両への系統板の掲出を実施
  - ☆にしがま線を題材にした「謎解きデジタルスタンプラリー」を実施
  - ☆名鉄が販売するフリーきっぷと連動した誘客キャンペーン企画「西尾と蒲郡のんびり鉄道の旅」を実施
  - ☆保育園年長児を対象とした絵画コンクールを実施
  - ☆名鉄でんしゃまつりに出展し、沿線の魅力PRと誘客推進キャンペーンを実施
  - ☆愛知大学地域貢献事業「REGO」との協働による「御駅印帳、御駅印」の配布
  - ☆トンボロリレーマラソンの開催
  - ☆にしおマラソンの開催
  - ☆InstagramやFacebook等のSNSを利用して沿線の魅力を発信
  - ☆駅を発着点とし沿線を巡るウォーキングイベントを開催

☆愛知県と協働でエコモビリティライフの推進と鉄道利用を促進する PR の実施

- ・鉄道への乗換可能なパーク＆ライド駐車場、サイクル＆ライド駐輪場の整備と利用促進、バリアフリーの促進、レンタサイクルの実施等により、鉄道を利用しやすい環境を整備します。
  - 西尾駅南高架下に新たな自転車駐車場を開設
  - 三河鳥羽駅に新たなレンタサイクルを設置
  - 福地駅にパーク＆ライド駐車場を運用
  - 西幡豆駅・東幡豆駅に駅待合を整備
  - ★三河鳥羽駅トイレにアート装飾の実施
  - ★西尾駅・東幡豆駅において電動キックボードのレンタル実証を実施
  - ☆こどもの国駅トイレにアート装飾の実施
  - ☆東幡豆駅においてモビリティポートを整備
  - ☆西尾駅・吉良吉田駅・西幡豆駅・東幡豆駅において、レンタサイクルを運用
- ・新たな企業立地に対して最寄り駅とのバス等によるアクセスを強化するため、駅前広場の整備等を行います。
  - 上横須賀駅ロータリー整備に向け、用地を取得
- ・地域の拠点としての駅の整備について検討します。
  - 上横須賀駅ロータリー整備に向け、用地を取得【再掲】
- ・名鉄西尾線の発着便の増強や将来的な複線化などの名古屋駅や豊橋駅へのアクセス向上に向けた調査研究を進めます。

#### 事業①－２－１ バス交通サービスの充実

- ・公共交通の機能別階層に基づいて、現行のバス運行経路・ダイヤ等を必要に応じて見直し、運行サービスの充実を図ります。
  - 六万石くるりんバス全路線で鉄道との接続性や交通事情を考慮したダイヤ改正を実施
  - 六万石くるりんバス無料乗車対象の拡大
  - 六万石くるりんバスにおける交通系 IC カード対応実施
  - 市内乗降 1 乗車 200 円運賃の実施
- ・渡船とバスとの接続を強化し、渡船の利便性向上を図ります。
  - ☆名鉄東部交通バスと佐久島渡船の最終便を接続
- ・鉄道駅や複数のバス路線が接続する交通結節点において、鉄道とバス、バス相互、鉄道・バスといこまいか一等の接続利便性の向上を図ります。
  - いこまいか一の目的地追加を実施（6 箇所）
  - 相乗りタクシーの本格運行実施
  - ★名鉄東部交通バスのスクールパスについて manaca スクールパスの発売を開始
  - ★名鉄グループで小児 manaca おでかけキャンペーンを実施
  - ☆名鉄東部交通バスのスクールパスで六万石くるりんバスへ乗車が可能

- ・市外のバスネットワークとの接続を強化し、市外への移動利便性の向上を図ります。
  - チョイソコこうたの目的地に六万石くるりんバスのバス停を追加

#### 事業①-2-2 いこまいかーのサービス充実

- ・西尾・一色地区では、自宅と小学校区内の拠点的なバス停等、吉良・幡豆地区では、地区内の駅・商業施設・医療施設等を目的地として、日常生活の移動手段を確保しています。
  - いこまいかーのチケットレス化に向けた実証実験を実施（全市展開）
  - いこまいかーの目的地追加を実施（6箇所）【再掲】
  - 東幡豆駅にタクシーを1台常駐させる実証実験を実施
- ・目的地は、利用実態、市民ニーズ及び地区公共交通協議会での協議を踏まえて、西尾市地域公共交通活性化協議会での合意により見直し等を行います。
  - いこまいかーの目的地追加を実施（6箇所）【再掲】

#### 事業①-2-3 タクシーサービスの利便性向上・活性化

- ・ドア・ツー・ドアのタクシーの特性を活かして、交通手段の確保が困難な高齢者や障がい者等の移動支援や、観光での活用に取り組みます。
  - いこまいかーの目的地追加を実施（6箇所）【再掲】
  - 相乗りタクシーの本格運行実施【再掲】
  - 東幡豆駅にタクシーを1台常駐させる実証実験を実施【再掲】
  - タクシーを活用した高齢者や障害者、妊婦等の移動支援を実施
- ・セダン車両による一般のタクシーを利用できない人の移動を確保するため、車いすのまま乗車できるなど、高齢者や障がい者等に配慮された誰もが使いやすいユニバーサル・デザインタクシーの導入を促進します。
- ・愛知県タクシー協会、交通事業者、地方自治体等からなる西三河南部交通圏タクシー準特定地域協議会の策定する計画に基づき、タクシー事業の活性化に取り組みます。
  - 運転手採用確保支援策として就職説明会への出展に係る費用を補助

#### 事業①-2-4 相乗りタクシーのサービス充実

- ・地区内の駅・商業施設・医療施設等を目的地として、日常生活の移動手段を確保しています。また、相乗りでの運行とすることにより、効率的な配車と生産性向上を図ります。
  - 相乗りタクシーの本格運行実施【再掲】
- ・目的地は、利用実態、市民ニーズ及び地区公共交通協議会での協議を踏まえて、西尾市地域公共交通活性化協議会での合意により見直し等を行います。
- ・相乗りを促進させるための施策を交通事業者や地区協議会と連携して、実施します。
  - 利用者を対象に使い方や目的地に関する相談会を実施

- ・相乗り運行のいこまいか一への横展開を検討していきます。

### 事業①－3－1 次世代交通システム等の導入に向けた取り組み

- ・市中心部や鉄道・バス端末交通への活用を視野に、自動運転などの新技術を活用した次世代交通システムの導入に向けて、国・県などと協力して調査・研究を行います。
  - 先進地視察【愛知県名古屋市（自動運転）、栃木県宇都宮市（LRT）】を実施
- ・環境への負荷の少ない次世代自動車等の普及促進を図ります。
  - 環境Wave21の会場で、バスの乗り方体験イベント、EVバスの展示を実施
  - ☆電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車を購入し、新車登録した方を対象に補助金を交付
- ・地域特性に合わせて、グリーンスローモビリティなどの新たな移動形態の導入について調査・研究します。
  - ☆佐久島において、ドローンと自動運転を連動させたスマートアイランドの実証事業を実施
- ・移動のニーズに対応して、様々な移動手段をサービスとしてトータルに提供する MaaS への対応を進め、楽しく便利に移動できる環境を整備します。
  - 民間路線も含めた市内バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載
  - 経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施

## 基本方針② 交流と活性化を推進

### 事業②－1－1 キャッシュレスの推進

- ・六万石くるりんバスは、現金等のほかに、スマホを使ってPayPay・LINEPayで支払いすることができ、また、障害者手帳アプリ（ミライロID）も利用できます。
  - 六万石くるりんバスにおける交通系ICカード対応実施【再掲】
  - ☆佐久島渡船においても障害者手帳アプリ（ミライロID）による割引を適用
  - ☆名鉄東部交通バスのスクールバスで六万石くるりんバスへ乗車が可能【再掲】
- ・ふれんどバスは、交通系ICカードの利用が可能ですが、名鉄東部交通バスは利用できず、現金等のみです。
  - ☆名鉄東部交通バス全線で交通系ICカードの利用が可能
- ・このように事業主体によってキャッシュレスの有無、方法が異なっていることから、キャッシュレスの共通化など、より利用しやすいキャッシュレスの仕組みを推進します。
  - 六万石くるりんバスの交通系ICカード対応により市内全てのバス路線でICカードが利用できる体制を構築
- ・スマホのアプリを活用した「共通一日券」や「企画切符」等の発行により観光客の利用促進を図ります。例えば、バス乗車券と商業施設等での割引などがセットになった電子

切符などの導入を検討します。

### 事業②－１－２ 「見える化」の推進

- ・ 現在、六万石くるりんバスについては、バスロケーションシステムにより、バス車両の位置、バス車内の混雑状況をリアルタイムに確認できます。また、ふれんどバスについては、名鉄バスロケーションシステムで運行状況を確認できます。
- ・ 目的地までの検索については、スマホの地図アプリでも可能となっています。
  - 民間路線も含めた市内バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載【再掲】
  - 経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施【再掲】
- ・ 公共交通を利用しやすくなる「見える化」の拡大を推進します。
  - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂
  - 作成した公共交通マップを地図アプリケーション「Avenza Maps」へ反映
  - バスロケーションシステム、混雑状況配信システムによりリアルタイム情報を提供

### 事業②－２－１ 周遊観光の推進

- ・ 公共交通を使って市内の観光資源を周遊するネットワークの形成、その情報提供などにより、観光客が手軽に公共交通を利用できる環境を整備します。
  - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する「おでかけきっぷ」を実施【再掲】
  - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂【再掲】
  - 市内乗降 1 乗車 200 円運賃の実施【再掲】
  - ★ にしがま線を題材にした「謎解きデジタルスタンプラリー」を実施【再掲】
  - ★ 名鉄グループで小児 manaca おでかけキャンペーンを実施【再掲】
  - ☆ 名鉄が販売するフリーきっぷと連動した誘客キャンペーン企画「西尾と蒲郡のんびり鉄道の旅」を実施【再掲】
- ・ 外国人観光客への対応についても実施します。
  - ☆ パンフレットやホームページの多言語対応を実施
- ・ パンフレットの作成、スマホを使った目的地検索と公共交通チケットの入手など、利便性の高い仕組みを構築します。

### 事業②－２－２ まちづくりと連携した施策の実施

- ・ 鉄道やバスを活用した施策・イベント等を企画し実施します。
  - 西尾市地域包括支援センターと連携したバスの乗り方教室を開催
  - 環境 Wave21 の会場で、バスの乗り方体験イベント、EV バスの展示を実施【再掲】
  - 六万石くるりんバス車内窓に、地元企業等の広告を掲載
  - 市内の公共交通機関を活用して親子でおでかけするきっかけを創出する取り組みとして、「おでかけきっぷ」を実施【再掲】

- のりものカードを作成し、利用者へ配布
- ★貸切観光列車「にしがま線トワイライトトレイン・ナイトトレイン」を実施【再掲】
  - ☆蒲郡線のワンマン車両への系統板の掲出を実施【再掲】
  - ☆にしがま線を題材にした謎解きデジタルスタンプラリー「謎解きデジタルスタンプラリー」を実施【再掲】
  - ☆名鉄が販売するフリーきっぷと連動した誘客キャンペーン企画「西尾と蒲郡のんびり鉄道の旅」を実施【再掲】
- ・イベント等の機会をとらえて、公共交通機関の利用を働きかけます。
    - ☆愛知県と協働でエコモビリティライフの推進と鉄道利用を促進するPRの実施【再掲】
    - 環境 Wave21 の会場で、バスの乗り方体験イベント、EVバスの展示を実施【再掲】
  - ・地域のまちづくり活動との連携（地域のイベントでのバス活用、バス運行道路の清掃活動等）、小中高等学校のボランティア活動等との連携（生徒によるバス停のベンチ設置等）について関係者と協議し、協力して実施します。
    - 民生委員や地域包括支援センター等との連携により、高齢者等を対象としたバスの乗り方やいこまいかーの利用方法の講座を地域に出向き実施
    - ☆地元中学校・高校が実施する鉄道利用促進イベントへの協力
  - ・施設等が保有する車両の有効活用、商業者等と連携したバス運行の実現可能性について検討します。

### 基本方針③ 持続可能な公共交通の確保

#### 事業③－１－１ エコ通勤・通学の取り組みの実施

- ・事業所のエコ通勤の取り組みを支援します。エコ通勤に意欲のある事業所へのヒアリングなどを通して、実施のための課題などを把握し、エコ通勤を実施するための施策に西尾市と事業所が連携して取り組むための仕組みをつくります。
- ・エコ通勤を実施する事業所の拡大を図るため、事業所への時刻表の配布等によるPR活動を行います。
  - 市内商業施設において、エコ通勤を呼び掛けるキャンペーン活動を実施
- ・通学において、自家用車での送迎から公共交通利用への転換を促すとともに、高校生が社会人となったときにも公共交通を使っていたため、学校へのPR等によりエコ通学を推進します。
  - ☆高校別に公共交通を利用した通学方法案内や個別時刻表を掲載したパンフレットを作成し、エコ通学を推進

#### 事業③－１－２ 情報提供

- ・公共交通のバス停・ダイヤの変更等に合わせて、路線、時刻表及び乗継情報等を掲載した総合的な公共交通時刻表を発行し、市民、駅や公共施設等へ配布します。
  - 市内の各公共交通機関を網羅した公共交通マップを作成するとともに、ポケット版総合時刻表を改訂【再掲】

- ・バス停やダイヤの変更に合わせて、検索サイトへの情報提供を行います。
  - 民間路線も含めた市内バス路線の GTFS データを作成し、グーグルマップに掲載【再掲】
  - 経路検索事業者（NAVITIME、ジョルダン、駅すばあと）と連携し、路線情報の見える化を実施【再掲】
- ・広報、ホームページ、SNS など多様な媒体を活用して公共交通の情報提供を行います。
  - 広報にしおや市ホームページ、外国人向け生活情報誌など多様な媒体を活用して、バスの乗り方や公共交通に関する情報を発信
  - 民生委員や地域包括支援センター等との連携により、高齢者等を対象としたバスの乗り方やいこまいかーの利用方法の講座を地域に出向き実施
  - 個人のお出かけに合わせたマイ時刻表作成サービスを実施
  - バスロケーションシステム、混雑状況配信システムによりリアルタイム情報を提供 【再掲】

### 事業③－２－１ 地区公共交通協議会の運営

- ・市内の地区ごとに住民参加による地区公共交通協議会を設置し、この協議会で地区内の公共交通ネットワーク、運行方法等について検討し、西尾市との協議により実行する体制を整えています。
- ・一色・吉良・幡豆地区では、既存の公共交通との連携や交通事業者への影響等を配慮した上で相乗りタクシー・いこまいかーの目的地の拡大を行っています。
  - いこまいかーの目的地追加を実施（6箇所）【再掲】
  - 相乗りタクシーの本格運行実施【再掲】
- ・これらの地区では、利用者数等の目標の設定、PDCA サイクルに基づく評価、利用実態に応じたバスルート・バス停の変更及びいこまいかーの目的地の見直し等を行うため、地区公共交通協議会を継続して運営します。

### その他事業

- 交通モードの変更や目標値の達成状況等を踏まえて西尾市地域公共交通計画の改正を実施（全3回）
- 協議会を年4回程度開催するとともに、目標指標の達成状況、西尾市地域公共交通計画で実施する事業の進捗状況、最低維持基準の達成状況等を管理し、PDCA を実施

## 令和 7 年度西尾市地域公共交通活性化協議会収支決算

## 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差引額	摘 要
負担金	20,000,000	20,000,000	0	西尾市負担金
雑収入	1	16,503	16,502	預金利息
繰越金	1,879,240	1,879,240	0	前年度繰越金
合 計	21,879,241	21,895,743	16,502	

## 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差引額	摘 要
報償費	509,200	242,080	▲222,300	委員謝礼
事業費	21,370,041	20,260,236	▲1,652,754	印刷製本費 2,601,500 消耗品費等 354,244 公共交通施設整備費用 6,782,050 バスロケ運用費 1,627,560 おでかけきっぷ運賃補填 294,690 バス設備費用 7,959,415 西尾市地域公共交通計画修正業務委託 286,000 旅費 294,700 定期券販売委託手数料 60,077
合 計	21,879,241	20,502,316	▲1,875,054	

収入総額 21,895,743 円

支出総額 20,502,316 円

次年度繰越額 1,393,427 円